

平成18年度「専修学校を活用した職業意識の啓発推進」成果報告書

事業名	環境問題やその意識向上の教育を柱とした職業観育成講座		
法人名	学校法人 文理学院		
学校名	文理ランドスケープ園芸専門学校		
代表者	理事長 千葉 雅保	担当者 連絡先	渡辺 嘉昭 TEL022-215-5112
<p>1. 事業の概要</p> <p>環境に関係した著名な講師を招き、5回にわたって環境問題についての講演と、昨年度製作した本校ビオトープとそれを囲む里山と自然、ならびに地域のビオトープ関連の環境学習をとおして、将来幅広く環境に携わにあたっての環境観育成と良く業意識の啓発推進と啓蒙を実践を交えて実施した。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層への環境問題意識付けのため広報を昨年度以上に強化したが、効果はいまひとつであった。 ・学校ビオトープをとおして環境関連の職業観動機付けとしては効果はあった。 ・体験の内容に工夫を施したこともあり参加者の満足度は高かった。 <p>②事業により得られた成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演の内容について身近で、かつ若年層に分かりやすい内容の講話により意識の向上につながった。 ・地域の環境への取り組みが高い関係との連携によりネットワークの広がりが強化された。 ・参加者のほとんどが環境に関心のある人達であったが、学校での環境学習の希薄さを補うことができた。 <p>③今後の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに環境関連職への関心の度合いを高めるため、ネットワークを広げていく。 ・若年層へ環境問題への意識付けを高めるため本校ビオトープをオープンにし観察なども自由に行えるようにしていく。 <p>④次年度以降における課題・展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットとしている小中高校生へ環境学習の意識向上が課題。 ・昨年度も提案したが教員の環境への関心度を高める事。 ・地域の環境問題解決のため自然と人間の共生できる環境作りが課題となる。そのための環境作り(本校では学校ビオトープの保存)を継続して行っていく。 ・前述のとおり本校ビオトープを広く一般に開放し自然の大切さを再認識して貰う。 			

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

- ・実施状況報告は別紙1、アンケートは別紙2を参照。

②その他

- ・本校の自然とのふれ合いの仲間を増やすために「八幡の杜パーク・パスポート」を発行し、ネットワークを強化した。
- ・委託事業により製作した本校ビオトープと今年度整備を行った周辺の里山をひろく知って貰うためにホームページへ逐次VTRをアップしている。
- ・できて一年目のビオトープにトウホクサンショウウオやヤマアカガエルの自然産卵が見られ、今後このビオトープの環境に楽しみがもてる。